

## 東京湾の干潟における底生珪藻の一次生産と種組成

○植松幸希・青木 茂・岡本 研(東大院農)・日野明德(海生研)

干潟域の一次生産には底生珪藻が多く寄与しているが、その主な種や生態、生産量などはわかっていない。しかし、底生珪藻は種によって増殖率が異なることが言われているため、底生珪藻による一次生産量はその種組成によって異なる可能性がある。そこで本研究では、2010年8月と11月に東京湾湾口部の横浜市海の公園、湾奥部の葛西臨海公園西なぎさ、江戸川放水路河口部にて底泥を採取し、実験室で明暗瓶法を用いて一次生産量を測定した。また珪藻の同定・計数を行った。その結果、海の公園と葛西臨海公園西なぎさでは一次生産量が8月と11月で異なったが、江戸川放水路河口部では同程度であった。このことより、一次生産量の季節変動は場所によって異なることが示唆された。発表では一次生産量の変動要因と種組成について考察する。